

日蓮大聖人御書全集

どうみようぜんもんごしよ

道妙禪門御書

新版
1713

どうみようぜんもんごしよ
道妙禅門御書

けんじ ねん がつ にち さい どうみよう
建治 2 年 ('76) 8 月 10 日 55 歳 道妙

ごしんぷきとう

うけたまわ そうろう

ぶつぜん きねんもう

御親父祈禱のこと 承り候あいだ、仏前にて祈念申す

そうろう きとう

けんきけんおう けんきみようおう みようきみようおう

べく候。祈禱においては顕祈顕応・顕祈冥応・冥祈冥応・

みようきけんおう きとう あ

かんよう きよう しんじん

冥祈顕応の祈禱有りといえども、ただ肝要は、この経の信心

いた たま そうら

げんとう しょうん まんぞく そうろう ほつけ

を致し給い候わば、現当の所願、満足あるべく候。法華

だいさん い ま まみん あ

みなぶつぼう まも

第三に云わく「魔および魔民有りといえども、皆仏法を護ら

だいしち い やまい すなわ しょうめつ ふろう ふし

ん」。第七に云わく「病は即ち消滅して、不老不死なら

きんげん うたが

ん」との金言、これを疑うべからず。

みよういちあまごぜん　とうざんさんけいあ　がた　そうろう　まきものいつかん

妙一尼御前、当山参詣有り難く候。卷物一卷、これを

まい　そうろう　ひけんあ　そうろう　なんみようほうれんげきよう

進らせ候。披見有るべく候。南無妙法蓮華經。

けんじにねんひのえねはちがつとおか　にちれん　かおう

建治二年丙子八月十日

日蓮　花押

どうみようぜんもん

道妙禅門